

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970101752	
法人名	株式会社 百百	
事業所名	グループホーム「笑がお」	
所在地	〒400-0071 甲府市羽黒町1461-1	
自己評価作成日	令和3年1月10日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和3年3月15日 月曜日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たち、笑がおの基本は`その人らしさ`にあります。つねに利用者本意の姿勢で取り組み、ご本人の尊厳に配慮し、安心を提供し、自立を支援し、健康を保つ…その人の望む馴染みの暮らしができるよう、お手伝いします。目の前のありのままの姿を受け止め、かけがえのないお一人として向き合い、思いに共感し、その方の為に私達になにができるのか、毎日の生活の中の気づきを大切に、心の声に耳を傾ける意識を持って認知症介護のプロとして関わらせて頂いております。思いに寄り添った長い年月の中で『第二の我が家』での看取りを希望する方も多く、慣れ親しんだ場所や人の中で、穏やかな最期を過ごされ、今までに35名の皆さんが『笑がお』から旅立ちました。今後も最期まで『疑似家族』として役割を果たしたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、2階建ての2ユニットである。家庭的な趣のある事業所は、目の前に富士山が望め、甲府盆地を一望出来る風光明媚な高台に有る。周りには住宅・竜源寺があり入居者はコロナ禍の中でも感染予防をしながら毎日散歩に出掛ける等、日常的に入居者が楽しそうに過ごして居る。理念は事業所の名前と同じ『笑がお』。管理者・職員一同、常に入居者の本人本位を第一に考え、日々の生活の中での気づきを大切にしている。また、認知症であってもその人らしさを大切にし、尊厳を持った一人のひととしての生活を支援して行きたいという思いにより、慣れ親しんだ場所や人の中で最後迄笑がおいっばいで過ごされている。事務所には「笑がお」から旅立った方々の遺影が飾ってあり、深い絆を感じ取れる。

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている 現状は(参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに(コロナ禍以前) 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている 現状は(参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが(コロナ禍以前) 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム「笑がお」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			1階	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの入り口や各フロアに理念を掲げ、折に触れて皆で共有しています。また月に2回開催するカンファレンスで全職員と理念の共有をして、その方の支援方法をチームで考え実践しています。	ホームの入り口や各フロアに理念を掲げ、折に触れて皆で共有しています。また月に2回開催するカンファレンスで全職員と理念の共有をして、その方の支援方法をチームで考え実践しています。	開設当初の事業所の理念「笑がお」がそのまま事業所名と成っている。利用者を巻き込んだ月2回のカンファレンスには全職員が出席し、理念に沿ったケアの統一を図ると共に、一人ひとりの思いに寄り添った支援方法をチームで話し合い実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	四季を通じて可能な限り屋外に出掛けることをモットーとしており、地域のお祭り、文化祭、運動会などの地域行事で、優しいもてなしを受けています。自治会に加入して、回覧板、ゴミ掃除当番など地域住民としての役割を果たしながら交流しています。	四季を通じて可能な限り屋外に出掛けることをモットーとしており、地域のお祭り、文化祭、運動会などの地域行事で、優しいもてなしを受けています。自治会に加入して、回覧板、ゴミ掃除当番など地域住民としての役割を果たしながら交流しています。	自治会に加入、回覧板が回ってくる。コロナ禍で地域行事に招かれる機会は少なくなったが、感染予防対策を講じ参加したりゴミ掃除当番を行なう等、地域住民としての役割も果たしている。日常的に散歩や慣れ親しんだ場所や花見・紅葉を見にドライブに出掛け外気に触れる・気分転換をする等の機会を多くとっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度はコロナ禍ですべての取り組みが厳しい状況ではありましたが、例年は運営推進会議での発信、地域ボランティアの受け入れ、認知症講座など多義にわたって活動ができていました。	今年度はコロナ禍ですべての取り組みが厳しい状況ではありましたが、例年は運営推進会議での発信、地域ボランティアの受け入れ、認知症講座など多義にわたって活動ができていました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	今年度はコロナ禍で書面開催のため多くのテーマは無理でしたが、例年は20名からの出席によりアドバイスも多く、地域や家族からのニーズに応えるべく、職員間でもその都度議事録を共有し、改善点等話し合って実践に繋げています。	今年度はコロナ禍で書面開催のため多くのテーマは無理でしたが、例年は20名からの出席によりアドバイスも多く、地域や家族からのニーズに応えるべく、職員間でもその都度議事録を共有し、改善点等話し合って実践に繋げています。	例年とは違い、運営推進会議は、書面による開催となったことでテーマは設けず、主にコロナ中心の議題となった。「何が自分たちに出来るか」を職員間で話し合いながら議事録を作成した。コロナ禍でも感染防止策を講じ、家族をはじめ周囲の方達の協力も得ながら面会・戸外に出るを実践に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度はコロナ関連で、何となく連携する機会がありホームならではの課題を相談してきました。例年ですと市のボランティア養成実習や、甲府市介護サービス事業者連絡協議会の委員としての協力もさせてもらいながら連携しています。	今年度はコロナ関連で、何となく連携する機会がありホームならではの課題を相談してきました。例年ですと市のボランティア養成実習や、甲府市介護サービス事業者連絡協議会の委員としての協力もさせてもらいながら連携しています。	書面開催での運営推進会議の議事録・入居者の日常の様子や事業所の現状報告などを行なうと共に、市はもろろ県にも事業所としてグループホームならではの意見や課題(SOS)を積極的に投げかけ、アドバイスをいただき実践に繋げている。例年以上に連携がとれ協力関係も築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員一同知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。開設以来15年で身体拘束の同意書は1例のみです。創意工夫をしながら身体拘束をしないケアを実践しています	毎年権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員一同知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。開設以来15年で身体拘束の同意書は1例のみです。創意工夫をしながら身体拘束をしないケアを実践しています	身体拘束・スピーチロックは日常的に問題意識を持ち業務に取り組んでいる。権利擁護の研修には交代で参加しており、全職員が受講済みである。また、講師を呼び事業所内でも研修を開催し問題意識を高めている。身体拘束はしないをモットーに、玄関は施錠せず、チャイム対応とし、職員は阿吽の呼吸で身体拘束をしないケアの実践に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員一同知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。虐待マニュアルで、不適切なケアを検証する機会を多く持ち、負担やストレスを取り除く環境に配慮しています。	毎年権利擁護等の研修への出席や、講師を招いての勉強会など、職員一同知識を深めながら問題意識を持って取り組んでいます。虐待マニュアルで、不適切なケアを検証する機会を多く持ち、負担やストレスを取り除く環境に配慮しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護等の研修を主要な職員が皆受講し、施設内の勉強会で伝達したり、成年後見制度について講師を招いて勉強会をするなど、職員一同知識を深めて、必要に応じて相談に繋げて活用できています。	権利擁護等の研修を主要な職員が皆受講し、施設内の勉強会で伝達したり、成年後見制度について講師を招いて勉強会をするなど、職員一同知識を深めて、必要に応じて相談に繋げて活用できています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談の時から、何でも聞いて貰えるように丁寧な説明を心掛け、理念、方針の理解を得ながら、疑問点などに応えられるようにその都度誠実に対応し信頼関係の構築を心掛け、契約、改正等に理解や納得を図っています。	入居相談の時から、何でも聞いて貰えるように丁寧な説明を心掛け、理念、方針の理解を得ながら、疑問点などに応えられるようにその都度誠実に対応し信頼関係の構築を心掛け、契約、改正等に理解や納得を図っています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム「笑がお」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			1階	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見は運営推進会議が中心になる事が多くあります。今回は新型コロナ対策で様々な意見をたくさん頂きました。職員間で話し合いながら方針を立てて議事録として明確にして、ご家族にお伝えして実践しています。	意見は運営推進会議が中心になる事が多くあります。今回は新型コロナ対策で様々な意見をたくさん頂きました。職員間で話し合いながら方針を立てて議事録として明確にして、ご家族にお伝えして実践しています。	家族には面会時・「笑がお」便り・運営推進会議の議事録等の郵送・電話等で意見・要望を確認している。家族からは、コロナ禍での対応について多くの意見をいただき、職員会議で入居者も巻き込み話し合い、コロナ対策マニュアル・方針を掲げ、全家族に伝え、了解の基にサービスを実践している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的にケアに介入して関わりを多く持つ努力をしています。月2回開催する全体会議で意見を出し合って、ケアのニーズにふさわしい配置変換をしたり、必要とするハード面の整備など、可能な限り反映して働きやすい職場作りをしています。	日常的にケアに介入して関わりを多く持つ努力をしています。月2回開催する全体会議で意見を出し合って、ケアのニーズにふさわしい配置変換をしたり、必要とするハード面の整備など、可能な限り反映して働きやすい職場作りをしています。	職員は年2回管理者との面談があり、能力評価シートを記入、それに基づいて意見を聞き取り、個人目標の確認も行なっている。職員からはアクティビティの見直し案(すみわけ・時間の工夫・触れ合い)や身体的影響を考慮したベッドやマットレスの変更の意見が出され、家族の協力を得る等、職員の気づきや意見・アイデアが運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回キャリアパス能力シートを使用して個別の面接をしています。現状の課題や努力目標を掲げてもらい、努力や実績、労働時間、やりがいなど双方のニーズを確認して、働きやすい職場作りになるよう環境整備をしています。	年に2回キャリアパス能力シートを使用して個別の面接をしています。現状の課題や努力目標を掲げてもらい、努力や実績、労働時間、やりがいなど双方のニーズを確認して、働きやすい職場作りになるよう環境整備をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得はもちろんのこと、内外の研修には積極的に受けられる機会を、経験値に応じて確保しています。今年度はコロナの影響でその機会は半減しましたが、法人内では可能な限り学べる機会を設け、書面提供も多くなりました。	資格取得はもちろんのこと、内外の研修には積極的に受けられる機会を、経験値に応じて確保しています。今年度はコロナの影響でその機会は半減しましたが、法人内では可能な限り学べる機会を設け、書面提供も多くなりました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山梨県グループホーム協会で毎年企画しての相互訪問や研修等で交流していますが、今年度はコロナの影響で半減しました。他の事業所の方に運営推進会議の委員になって頂いて、サービス向上に役立っています。	山梨県グループホーム協会で毎年企画しての相互訪問や研修等で交流していますが、今年度はコロナの影響で半減しました。他の事業所の方に運営推進会議の委員になって頂いて、サービス向上に役立っています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究・研修東京センターの作成した『センター方式』により生活史・療養歴・家族歴・暮らし方・心身の情報・焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究・研修東京センターの作成した『センター方式』により生活史・療養歴・家族歴・暮らし方・心身の情報・焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談から始まり、入居に至るまでは丁寧話し合いを重ね、要望や不安などに耳を傾け、共に本人を支えていけるよう信頼関係を築き、安心して貰えるように配慮しています。	入居相談から始まり、入居に至るまでは丁寧話し合いを重ね、要望や不安などに耳を傾け、共に本人を支えていけるよう信頼関係を築き、安心して貰えるように配慮しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症による周辺症状は様々ですが、共同生活の中でなにか難しいかを、他職種の意見も聞きながら見極め、一番望ましいサービスが提供できるように思案しています。基本的には症状の軽減が図れるよう努力して、積極的な受け入れをしています。	認知症による周辺症状は様々ですが、共同生活の中でなにか難しいかを、他職種の意見も聞きながら見極め、一番望ましいサービスが提供できるように思案しています。基本的には症状の軽減が図れるよう努力して、積極的な受け入れをしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	『笑がお』のモットーは、認知症の人を見るのではなく、一人の人間として共に生活する『家族』ととらえ、その方を深く理解して、共に共感しながら暮らししていく事なので、馴染みの信頼関係を築くことができています。	『笑がお』のモットーは、認知症の人を見るのではなく、一人の人間として共に生活する『家族』ととらえ、その方を深く理解して、共に共感しながら暮らししていく事なので、馴染みの信頼関係を築くことができています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム「笑がお」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			1階	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ご家族にお手紙を出し、現状の理解を得ながら、ご家族として支援してほしいことも投げ掛けていて、面会の頻度も多く気軽に相談できる環境が整っています。共に支える『疑似家族』として泣き笑いしながら暮らしています。	毎月ご家族にお手紙を出し、現状の理解を得ながら、ご家族として支援してほしいことも投げ掛けていて、面会の頻度も多く気軽に相談できる環境が整っています。共に支える『疑似家族』として泣き笑いしながら暮らしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	『センター方式』を知る中で得られた情報を基に、ご家族と協力して手紙や電話のやりとり、行きつけの図書館で本の貸し出し利用、友人の面会など個別に様々でしたが、今年度はコロナの影響で半減しています。	『センター方式』を知る中で得られた情報を基に、ご家族と協力して手紙や電話のやりとり、行きつけの図書館で本の貸し出し利用、友人の面会など個別に様々でしたが、今年度はコロナの影響で半減しています。	入居時・入居後の情報を「センター方式」を使用し、日頃の様子・発した言葉・家族関係・友人・知人・好きなこと等多角的な面から情報を収集し、入居者の思いをくみ取り、電話をかける・手紙を書く・馴染み場所にドライブに行く等し、馴染みの関係継続が途切れない支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が互いに支え合えるような支援に努めている	協働するお菓子作り、漬物作り、ほうとう作り、餅つきなど輪になってすることが多く有り、職員は橋渡しをしながらお互いを紹介し、会話が弾み馴染みの関係が持てるように日々支援しています。	協働するお菓子作り、漬物作り、ほうとう作り、餅つきなど輪になってすることが多く有り、職員は橋渡しをしながらお互いを紹介し、会話が弾み馴染みの関係が持てるように日々支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居のほとんどが看取りの方なので、グリーフケア的な関わりを持ち、お墓参りのあと立ち寄って下さったり、お手紙のやりとりをしたり、身の上相談に来たり、新米を届けてくれたりと家族としての繋がりを維持しています。	退居のほとんどが看取りの方なので、グリーフケア的な関わりを持ち、お墓参りのあと立ち寄って下さったり、お手紙のやりとりをしたり、身の上相談に来たり、新米を届けてくれたりと家族としての繋がりを維持しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	『センター方式』を参考にしながら、その方を知るためのコミュニケーションを欠かさず、気づきを持って関わっています。思いや意向は月2回開催する全体会議で情報を共有して、実践に繋がっています。	『センター方式』を参考にしながら、その方を知るためのコミュニケーションを欠かさず、気づきを持って関わっています。思いや意向は月2回開催する全体会議で情報を共有して、実践に繋がっています。	本人の思いや暮らしの意向は「センター方式」に記録し、各ユニットで毎月2回つづ行われる定期会議で話し合い、プランに反映させ実践に繋げている。また、常勤スタッフが各3名の入居者を担当し、さらに踏み込んだ実践から一人ひとりの思いや暮らしの意向の見極めを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究・研修東京センターの作成した『センター方式』により生活史・療養歴・家族歴・暮らし方・心身の情報・焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。	ご家族の協力も得て、アセスメントとして認知症介護研究・研修東京センターの作成した『センター方式』により生活史・療養歴・家族歴・暮らし方・心身の情報・焦点情報など多義にわたってその方を知り、入居前に職員間で共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時の暫定プランを一つの目安として、暮らしの中で気付いた情報を職員間で共有して、持てる能力に着目しながら意見を出し合い、更に具体的なプランを作成して実践して把握に努めています。	入居時の暫定プランを一つの目安として、暮らしの中で気付いた情報を職員間で共有して、持てる能力に着目しながら意見を出し合い、更に具体的なプランを作成して実践して把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	『センター方式』で知り得た情報を基盤に現状でなにか可能か月2回の担当者会議で検討して、課題の解決に努めたり、新たな課題の発見に繋がながら、現状に即したプランを細かく修正しながら、計画を作成しています。	『センター方式』で知り得た情報を基盤に現状でなにか可能か月2回の担当者会議で検討して、課題の解決に努めたり、新たな課題の発見に繋がながら、現状に即したプランを細かく修正しながら、計画を作成しています。	入居時・入居後の生活状況(センター方式)の情報から暫定プランを作成し1か月程度を目途にモニタリング、評価し担当者会議で何が出来て・何ができないかの課題を検討し家族の了解の元、本プランを作成しサービスを実施している。日頃の心身の変化を見逃さない、現状に則したプランと成っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録がケアプランに沿っての記載方法となっていて、実践の評価や考察など、気づきを記載する箇所も有り職員間で共有できて実践されています。また介護支援専門員はその記録を基にプランの更新に役立っています。	記録がケアプランに沿っての記載方法となっていて、実践の評価や考察など、気づきを記載する箇所も有り職員間で共有できて実践されています。また介護支援専門員はその記録を基にプランの更新に役立っています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム「笑がお」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			1階	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	看取りの支援をしている関係で薬局の居宅療養管理指導を取り入れて、専門のアドバイスを受けたり訪問診療により医療のニーズに即した対応をしたり地域の社会資源により、より豊かな生活が営まれるように配慮しています。	看取りの支援をしている関係で薬局の居宅療養管理指導を取り入れて、専門のアドバイスを受けたり訪問診療により医療のニーズに即した対応をしたり地域の社会資源により、より豊かな生活が営まれるように配慮しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の一員として根付いて15年が経ち、地域ボランティアの受け入れや、地域行事への参加など、馴染みの関係の中から生じてくる役割はたくさん有り、利用者の作ったナイロンたわしなどは毎年好評で地域のたくさんの家庭で使用してくれています。	地域の一員として根付いて15年が経ち、地域ボランティアの受け入れや、地域行事への参加など、馴染みの関係の中から生じてくる役割はたくさん有り、利用者の作ったナイロンたわしなどは毎年好評で地域のたくさんの家庭で使用してくれています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看取りを受け入れている関係で、在宅医療医が『笑がお』の主治医となっていて、訪問診療をして頂いています。24時間365日いつでも連携しながら適切な医療が受けられるよう支援しています。	看取りを受け入れている関係で、在宅医療医が『笑がお』の主治医となっていて、訪問診療をして頂いています。24時間365日いつでも連携しながら適切な医療が受けられるよう支援しています。	コロナ課で家族の理解を得、全入居者が訪問医の診療を受けている。必要時は看護師が付き添い受診も行っている。居宅療養管理指導により毎週来訪する薬剤師から薬の管理やアドバイスも受けている。「甲府在宅医療ネットワーク」を活用し、「第二の我が家」として安心して暮らせ、適切な医療が受けられる様に情報交換を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調管理については、24時間看護職と連携できる体制が整っていて、必要に応じては主治医に指示を仰いで適切な対応ができています。	日々の体調管理については、24時間看護職と連携できる体制が整っていて、必要に応じては主治医に指示を仰いで適切な対応ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院関係者とは顔の見える関係を築き、情報提供や早期退院の受け入れなど、何でも相談する環境が整っています。最近では『笑がお』に一日も早く戻るのが良いとソーシャルワーカーとの信頼を構築しています。	病院関係者とは顔の見える関係を築き、情報提供や早期退院の受け入れなど、何でも相談する環境が整っています。最近では『笑がお』に一日も早く戻るのが良いとソーシャルワーカーとの信頼を構築しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については、入居相談の時から事業所の方針を説明しています。重度化に伴いご家族の希望を確認し、『笑がお』で出来る事を説明することで、看取りを希望する家族も多く、開設より35名の看取りを支援してきました。	重度化や終末期については、入居相談の時から事業所の方針を説明しています。重度化に伴いご家族の希望を確認し、『笑がお』で出来る事を説明することで、看取りを希望する家族も多く、開設より35名の看取りを支援してきました。	事業所開設以来、多くの看取り経験がある。入居者の状態が悪化した時点で医師・看護師・管理者と家族を交え、今後の話し合いを行ない看取りプランに変更して行く。職員間でカンファレンスを行ない、何が出来るか方針を検討し、情報を共有し合いながら「第二の我が家」で出来る精一杯の看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルを整備し全職員と共有して、初期対応が誰でもできるよう訓練を重ねています。万が一に備え24時間看護職と連携できる体制を整え初期対応をしてもらっています。	緊急対応マニュアルを整備し全職員と共有して、初期対応が誰でもできるよう訓練を重ねています。万が一に備え24時間看護職と連携できる体制を整え初期対応をもらっています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害対策計画を作成して、施設内研修で周知しています。年2回避難訓練を実施すると共に、地域の防災士の方が運営推進委員となっているため折に触れてアドバイスが受けられる環境にあります。備蓄等も完備し避難場所も周知できています。	非常災害対策計画を作成して、施設内研修で周知しています。年2回避難訓練を実施すると共に、地域の防災士の方が運営推進委員となっているため折に触れてアドバイスが受けられる環境にあります。備蓄等も完備し避難場所も周知できています。	事業所が危険災害警戒区域にあることから運営推進委員の地域の防災士に折に触れアドバイスを頂き訓練に活かしている。また、地域の何処に何があるかも把握出来ている。運営推進会議で防災計画を提示し地域の委員の方々との連携も確認出来ている。通報点検・事業所内避難誘導訓練・避難場所迄の誘導訓練も行っている。備蓄品も完備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居前から『センター方式』による情報やケアプランにより、その方らしさや尊厳ある関わりを職員間で情報共有して、入居後は更に理解を深めていく為、傾聴時間も多く心掛けて誇りやプライバシーを大事にしています。	入居前から『センター方式』による情報やケアプランにより、その方らしさや尊厳ある関わりを職員間で情報共有して、入居後は更に理解を深めていく為、傾聴時間も多く心掛けて誇りやプライバシーを大事にしています。	「センター方式」による情報から、尊厳ある「その人らしさ」への関わりを共有している。入居後はさらにコミュニケーションに時間をかけ、入居者へのプライドを傷つけない言葉遣いや傾聴・共感的態度で接するように努めている。トイレ・入浴のお誘いもさり気なく行う等の気配りしている。	

自己評価および外部評価結果		事業所名	グループホーム「笑がお」	外部評価		
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
			1階	ユニット名(2階)		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の思いの表出ができるように、時間を掛けることは惜しみなく実践されています。そこで得た希望については可能な限り実現できるように職員間で話し合い、自己決定ができるように工夫しています。	御本人の思いの表出ができるように、時間を掛けることは惜しみなく実践されています。そこで得た希望については可能な限り実現できるように職員間で話し合い、自己決定ができるように工夫しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	加齢と重度化により希望の表出ができない方もいますが、その方の喜ぶことや長年の生活習慣等を大事にしなが、1人1人のペースを大切に日々支援しています。	加齢と重度化により希望の表出ができない方もいますが、その方の喜ぶことや長年の生活習慣等を大事にしなが、1人1人のペースを大切に日々支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時にご自分で選択できる方は一緒に関わったり、洗面所でお化粧をしたり等、身だしなみやお出かけに着に配慮するなど、御本人の意思を尊重して丁寧に導いています。	起床時にご自分で選択できる方は一緒に関わったり、洗面所でお化粧をしたり等、身だしなみやお出かけに着に配慮するなど、御本人の意思を尊重して丁寧に導いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜等のご近所や知り合いから頂くことが多く、一緒に料理をして品数に添えています。また、ほうとう作り、ピクニックの弁当作り、手巻き寿司、お祭りの焼きそば作り、漬け物等、食を通して楽しみを見出しています。	季節の野菜等のご近所や知り合いから頂くことが多く、一緒に料理をして品数に添えています。また、ほうとう作り、ピクニックの弁当作り、手巻き寿司、お祭りの焼きそば作り、漬け物等、食を通して楽しみを見出しています。	食材は業者に発注。コロナ課で外出出来ない分、施設内行事食(恵方巻・ひし形の寿し・流しそうめん等)や戸外で手作り弁当を食す等、入居者中心にを考慮し、個々の能力に応じて職員と一緒に準備から片付けを行い、職員も一緒に同じ食事を食べ美味さを分け合い楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医や薬剤師、看護職を中心に健康チェックをしながら、栄養や水分量に考慮しています。必要に応じて栄養補助食品の追加やカロリー制限など基礎疾患に応じて支援しています。	主治医や薬剤師、看護職を中心に健康チェックをしながら、栄養や水分量に考慮しています。必要に応じて栄養補助食品の追加やカロリー制限など基礎疾患に応じて支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後個別の能力に応じて見守りや介助に介入し残渣物を残さないように配慮しています。今年度はコロナの影響で歯科医師や衛生士の訪問を受けられませんでした。その分口腔内の清潔管理に努めました。	毎食後個別の能力に応じて見守りや介助に介入し残渣物を残さないように配慮しています。今年度はコロナの影響で歯科医師や衛生士の訪問を受けられませんでした。その分口腔内の清潔管理に努めました。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居時より排泄リズム、尿意、便意等、職員間で時間を掛けて排泄パターンを把握して共有しています。時間を定めてトイレ誘導をしています。夜間も必要に応じてポータブルトイレを使用し自立に向けた支援をしています。	入居時より排泄リズム、尿意、便意等、職員間で時間を掛けて排泄パターンを把握して共有しています。時間を定めてトイレ誘導をしています。夜間も必要に応じてポータブルトイレを使用し自立に向けた支援をしています。	職員が時間をかけて一人ひとりの排泄パターンを細かく把握、職員間で共有し、時間を決めトイレでの排泄支援を行ないながら能力を見極めている。入居当初はオムツにパット使用だった方が布パンツやリハビリパンツに、ポータブルトイレを使用し排泄の自立へ向けてQOLの向上に繋げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	加齢と共に皆さん起こり得る事ですが、必要に応じては主治医の指示を仰いで、整腸剤の使用もあります。大半は食材や水分の調整、運動量、腹部マッサージなど可能な限り自然排便を心掛けています。	加齢と共に皆さん起こり得る事ですが、必要に応じては主治医の指示を仰いで、整腸剤の使用もあります。大半は食材や水分の調整、運動量、腹部マッサージなど可能な限り自然排便を心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的にはご本人の希望に添っていますが、重度化により入浴の間隔や時間帯は様々です。疲労度を考慮して清拭のみの方もいます。午後の暖かい時間帯を利用して一人ずつ時間を費やし入浴を楽しめるように配慮しています。	基本的にはご本人の希望に添っていますが、重度化により入浴の間隔や時間帯は様々です。疲労度を考慮して清拭のみの方もいます。午後の暖かい時間帯を利用して一人ずつ時間を費やし入浴を楽しめるように配慮しています。	毎日入浴出来る準備はしてある。入浴は一人ひとりの希望に沿って回数は違っている。入浴時間は日中(午後)の暖かい時間帯で行い、ゆっくり時間をかけてコミュニケーションを図りながら行っている。車椅子でシャワー浴・体調により清拭を行なう等それぞれが入浴方法を楽しめる配慮を心掛けている。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム「笑がお」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			1階	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	馴染みの布団や小物など、個別の生活スタイルに合わせてご家族に用意して頂いています。馴染んだソファでゆったりする方、愛用のクッションで安心する方など生活習慣に配慮して支援しています。	馴染みの布団や小物など、個別の生活スタイルに合わせてご家族に用意して頂いています。馴染んだソファでゆったりする方、愛用のクッションで安心する方など生活習慣に配慮して支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	居宅療養管理指導で固定の薬局で、薬剤師が毎週健康チェックをしながら薬の効能、副作用、用法や用量についてスタッフと連携しながら、症状の変化の確認に努めています。	居宅療養管理指導で固定の薬局で、薬剤師が毎週健康チェックをしながら薬の効能、副作用、用法や用量についてスタッフと連携しながら、症状の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメントシート『センター方式』で知り得た情報を基に、やることをより具体的にプランに載せています。その方の出来る事出来ない事、価値観、楽しみ事、嗜好品、趣味など楽しみ事や役割を見出し実践しています。	アセスメントシート『センター方式』で知り得た情報を基に、やることをより具体的にプランに載せています。その方の出来る事出来ない事、価値観、楽しみ事、嗜好品、趣味など楽しみ事や役割を見出し実践しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に屋外に出ることを理念としていて、天気の良い日は公園やドライブに出掛けるのが日常です。地域の行事や外食、ピクニック、お花見等楽しみ事はたくさんありますが、今年度はコロナ禍でその楽しみも半減しました。ご家族が外出に協力して下さる事も多くあります。	日常的に屋外に出ることを理念としていて、天気の良い日は公園やドライブに出掛けるのが日常です。地域の行事や外食、ピクニック、お花見等楽しみ事はたくさんありますが、今年度はコロナ禍でその楽しみも半減しました。ご家族が外出に協力して下さる事も多くあります。	コロナ禍であり、感染予防をしながら戸外に出るをモットーに日常的に近くの寺や近隣の散歩・公園・馴染みの場所へドライブに出掛けている。玄関先は鉢植えの花を眺める入居者が四六時中出入りし笑顔が絶えない。一人ひとりの希望に沿って戸外に出掛けているとは言えない状況ではあるが家族や地域の方の協力もあり、より希望に寄り添った支援に努めて行けるように職員間で検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お財布を所持している方もいて、希望に添って買い物支援もしています。愛読書の購入、お祭りの買い物などその方の希望や能力に応じていますが、今年度はステイホームで、お金を使う機会は少なかったです。	お財布を所持している方もいて、希望に添って買い物支援もしています。愛読書の購入、お祭りの買い物などその方の希望や能力に応じていますが、今年度はステイホームで、お金を使う機会は少なかったです。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナ禍ではありましたが、ご家族の来訪も多くソーシャルディスタンスを守りながら触れあうことができました。ご家族からの電話、親戚からの葉書のやりとりなど、個々の能力に応じて可能な限り支援しています。	コロナ禍ではありましたが、ご家族の来訪も多くソーシャルディスタンスを守りながら触れあうことができました。ご家族からの電話、親戚からの葉書のやりとりなど、個々の能力に応じて可能な限り支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関にはご家族の絵の作品や観葉植物、花に囲まれアットホームな空間です。廊下や居間は家族と撮った写真やお出掛けの写真など一面に有り、利用者の安心に繋がっています。また利用者の書道や手芸等の作品を展示するコーナーもあります。ホーム全体の窓が南に面して明るいです。	玄関にはご家族の絵の作品や観葉植物、花に囲まれアットホームな空間です。廊下や居間は家族と撮った写真やお出掛けの写真など一面に有り、利用者の安心に繋がっています。また利用者の書道や手芸等の作品を展示するコーナーもあります。ホーム全体の窓が南に面して明るいです。	観葉植物や花いっぱい囲まれた玄関を入ると「笑顔」に擬えた書画が展示してあり目を引く。フロアーに向かう壁・フロアーにも家族と撮った写真や行事写真が一面に貼ってあり、所要所で日頃の生活ぶりうかがえる。階段を上がる途中の壁面には入居された書家が書いた作品があり目を引く。フロアーは明るく、窓からの眺めも素晴らしく、四季折々の季節感を感じられる心和む居心地のよい共有空間と成っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の居間だけでなく、玄関先やホール、事務所や玄関先など一人になれたり、気の合った仲間と過ごせる場所に椅子を置き、お茶をしたり、日向ぼっこをしたり、読書したりと思思いに過ごせる場所があります。	共用の居間だけでなく、玄関先やホール、事務所や玄関先など一人になれたり、気の合った仲間と過ごせる場所に椅子を置き、お茶をしたり、日向ぼっこをしたり、読書したりと思思いに過ごせる場所があります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口に表札を飾り、自宅で使用していたベッドや家具、寝具や小物など馴染みのものを居室に用意してもらっています。馴染んだ衣類などは、ハンガーラックに吊し可視化して、ご自分で着る服が選べるように配慮しています。	居室の入り口に表札を飾り、自宅で使用していたベッドや家具、寝具や小物など馴染みのものを居室に用意してもらっています。馴染んだ衣類などは、ハンガーラックに吊し可視化して、ご自分で着る服が選べるように配慮しています。	エアコン・防火カーテン以外は全て馴染みの物である。入居前に家族を居室に案内し、その上で馴染みの家具の配置や趣味の作品・家族写真を飾る等を行なってもらうことで、居心地のよい安心して過ごせる居室と成っている。ハンガーラックから洋服を自分で選ぶことも楽しみの1つと成っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	オープンスペースの台所、トイレの案内、洗面所の使い勝手、洗濯物干しの利用等自発的な動きができるように、わかりやすく自立した暮らしができるよう工夫しています。	オープンスペースの台所、トイレの案内、洗面所の使い勝手、洗濯物干しの利用等自発的な動きができるように、わかりやすく自立した暮らしができるよう工夫しています。		